

地域デザイン科学部

コミュニティデザイン学科

コミュニティデザイン学科では、持続可能で豊かな地域社会をかなえるために、総合的な視点から新しい社会システムをデザインする能力や、住民の意見を調整し計画を実現する能力を培い、地域をリードする人材を養成します。

1. 求める学生像

- (1) 地域や社会との関わりの中で学び、課題解決に当たる意欲のある人材
- (2) 地域の成り立ちを理解し、より良いコミュニティの創成を追究するために必要な基礎学力を有する人材
- (3) 地域の資源・社会システムの視点から、総合的・実践的にまちづくりを学ぶ熱意のある人材

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 高等学校の教育課程を尊重し、基本的な学力と思考力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 地域社会（コミュニティ）をデザインすることに対する熱意と学際的学修へ向けた適性・能力を評価の対象とします。
- (3) 主体的・協働的な姿勢，論理的思考力，表現力，コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

☆入学者選抜方法

(1) 一般入試(前期日程)

大学入試センター試験及び個別学力検査の結果を総合して選抜を行います。大学入試センター試験では、「文系型」又は「理系型」のいずれかで受験させ広く基礎学力をはかります。

個別学力検査等では多様な能力の人材を確保するために、英語に加えて国語又は数学から1科目を課し、基礎学力に加え、思考力と論理的に記述し表現する能力を評価するため、主体的に解答に取り組むことが必要な記述式の問題を多く出題します。

(2) 一般入試(後期日程)

大学入試センター試験及び個別学力検査（面接）の結果を総合して選抜を行います。大学入試センター試験では、「文系型」又は「理系型」のいずれかで受験させ広く基礎学力をはかります。

個別学力検査等では面接により、地域社会（コミュニティ）についての関心と学修意欲、本学科での適性・能力などを評価します。

(3) AO入試

第1次選考として調査書，活動経験についての報告書，進学後の自己設計書及びその他提出された書類により選考を行います。第2次選考としてプレゼンテーション，面接，グループディスカッション，大学入試センター試験の成績等を総合して選考を行います。

出身学校長の推薦を受けて受験する試験であり，各選考は「主体性・多様性・協働性」，「思考力・判断力・表現力」，「知識・技能」を総合して判断します。

建築都市デザイン学科

建築都市デザイン学科では、建築学の基礎を学び、一級建築士の国家資格を取得できる素養を身に付けさせるとともに、建築の先端技術や建築を取り巻く社会の構造変化を理解させます。さらに高齢社会、エネルギー、防災・減災などへのリスク対策を学び、各地域に応用する力を養います。また、経済学や法律学、経営学などを修得させることで、建築の仕事に関わる異業種の人と連携する力を培い、社会をハード面から支える人材を養成します。

1. 求める学生像

- (1) 建築と地域デザインの専門技術を学ぶために必要な幅広い基礎学力を有する人材
- (2) 人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築・地域デザインとの関わりを学ぶ熱意のある人材
- (3) 歴史・文化・芸術を活かした建築・地域空間創造を追究する意欲のある人材

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 高等学校の教育課程を尊重し、基本的な学力と思考力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 建築系分野に対する熱意と理数系分野に対する能力を評価の対象とします。
- (3) 主体的な姿勢、論理的思考力、空間的把握能力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

☆入学者選抜方法

- (1) 一般入試(前期日程)

大学入試センター試験及び個別学力検査の結果を総合して選抜を行います。大学入試センター試験では広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。

個別学力検査等では基礎学力に加え、思考力と論理的に記述し表現する能力を評価するため、主体的に解答に取り組むことが必要な記述式の問題を多く出題します。

- (2) 一般入試(後期日程)

大学入試センター試験及び個別学力検査(実技)の結果を総合して選抜を行います。大学入試センター試験では広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。

個別学力検査等では造形実技を課し、立体・空間の構成を把握する能力、表現する能力及び色彩感覚等を検査します。

- (3) AO入試

第1次選考として調査書、活動経験についての報告書及びその他提出された書類により選考を行います。第2次選考としてプレゼンテーション、面接、実技、大学入試センター試験の成績等を総合して選考を行います。

出身学校長の推薦を受けて受験する試験であり、各選考は建築・都市デザインにおける関心度や意欲、問題意識、視野の広さ、希望進路並びに空間的把握力、発想力、デザイン能力・表現力などを問い、総合して判断します。

社会基盤デザイン学科

社会基盤デザイン学科では、国際基準の建設工学エンジニアを育成します。なお、従来の建設工学分野の基礎に加えて、コミュニティデザインなど学際的な学問分野と連携する力を磨くことが特色です。これにより、社会基盤や地域住民の生活、自然環境を多角的に考慮して実際の地域に応じた技術開発や施策提案を行い、国内外で活躍できる建設技術者を養成します。

1. 求める学生像

- (1) 国内・海外の様々な地域の課題解決に関心があり、グローバルに活躍したい人材
- (2) 社会基盤と地域デザインの技術修得に熱意があり、そのための幅広い基礎学力を有する人材
- (3) 社会全体の利益のために奉仕できる責任感のある人材

2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 高等学校の教育課程を尊重し、基本的な学力と思考力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 地域における社会基盤デザインに対する熱意と問題解決に対する能力を評価の対象とします。
- (3) 主体的な姿勢、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

☆入学者選抜方法

(1) 一般入試(前期日程)

大学入試センター試験及び個別学力検査の結果を総合して選抜を行います。大学入試センター試験では広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。

個別学力検査等では基礎学力に加え、思考力と論理的に記述し表現する能力を評価するため、主体的に解答に取り組むことが必要な記述式の問題を多く出題します。

(2) 一般入試(後期日程)

大学入試センター試験及び個別学力検査(小論文)の結果を総合して選抜を行います。大学入試センター試験では広く基礎学力をはかり、理科では物理を必須科目としています。

個別学力検査等では小論文を課し、地域が抱える問題点や解決に向けた方策、または住民を幸せにする社会基盤の在り方に関するあなたの考えなどを問います。

(3) AO入試

第1次選考として調査書、地域社会貢献活動経験についての報告書及びその他提出された書類により選考を行います。第2次選考としてプレゼンテーション、面接を総合して選考を行います。

出身学校長の推薦を受けて受験する試験であり、各選考は社会基盤デザイン分野に関する関心度や意欲、問題意識、視野の広さ、希望進路などを問い、総合して判断します。